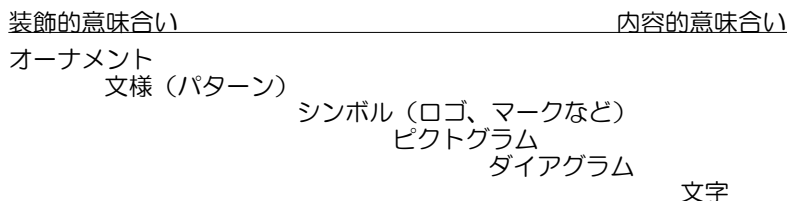


Pattern ~ Pictogram

2003.June.5
箕原辰夫

■意味の度合いによる分類

形については、次のように装飾を表すものと、その形によって意味を表すものと分類される。



■オーナメント、文様（文様事典より）

★歴史

古代エジプト、メソポタミアの文様、クレタ島・ミケーネ、ポンペイなど

ササン朝ペルシャでの文様の隆盛

→その後イスラム文化圏に浸透

→イタリア、フランス北部

→クチャ、中国の唐、日本へ（正倉院などに残る）

ヨーロッパでは、その後ロマネスク、ルネサンス、バロック、ロココ、新古典主義で様々な文様のバリエーションが生み出された、その後、アールヌーヴォー、アールデコ、バウハウスでも生み出されている。

日本では、その後平安時代には公家好みの文様、鎌倉時代には武家社会の文様と発達する。また身分や年齢などによって、有職文様が定められた。室町は茶道によるもの、桃山時代は豪商や名将によるはっきりした文様がでてくる。しかし、江戸時代には、庶民文化の文様が開花し、特に歌舞伎の文様と、それぞれの役者による紋が流行した。

★文様に表される図形の対象（西洋）

幾何学文様

渦巻、ギローシュ（組紐文）、メアンダー（雷文）、アラベスク、連珠、チェッカー（市松文様）

植物文様

アカンサス、ロータス、ロゼット、シュロ（なつめやし）、パルメット、月桂樹、ザクロ、葡萄、百合、薔薇、ミルフルール（千花模様）、ペイズリー

動物文様

獅子（ライオン）、羊、山羊、鹿、馬、牛、ウサギ、犬、豹、トラ、象、猿、魚、イルカ、タコ、鷲、クジャク、鶏、きじ、つばめ

幻想動物文様

龍（ドラゴン）、ペガサス、ヒッポカンポス、ユニコーン、グリフィン、スフィンクス、キマイラ、ケルベロス、メドゥサ、ケンタウロス、ミノタウロス、セイレーン、ハルピュイア、霊鳥、フェニックス、人魚、トリトン

器物文様

壺と植物、壺と鳥、花壺、花瓶と草花、フェストゥーン（花綱）、コルヌコピア（豊饒の角）、トロフィー、キャンデラブラム（燭台）、仮面、グロテスク（人工洞窟）、エッグ&ダーツ、カルトゥーシュ（装飾枠）、フォイル（葉文様／花卉文様）、帆立貝／ロカイユ（貝殻状）

★文様に表される図形の対象（日本）

割付文様

青海波（せいがいは）、立涌（たてわく）、七宝（しっぽう）、分銅繫ぎ、網目、亀甲（きっこう）、籠目（かごめ）、三崩し、檜垣（ひがき、網代／あじろ）、紗綾形（さあや）、蜀江（しよくこう）、工字繫ぎ、鋸歯（きょし）、菱、松皮菱、鱗、石畳、麻の葉、点、縞、格子

文様の変形

繋ぎ、子持ち、よろけ、捻じ、破れ、崩し、流し・流れ、尽くし、散らし

役者文様

三枳文、三枳格子、半四郎鹿子、芝翫（しかん）縞、小六染、観世水、三津五郎縞、六弥太格子、市松模様、亀蔵小紋、菊五郎公使、高麗屋格子、市村格子、その他

悟り絵

鎌輪ぬ（構わぬ）、斧琴菊（良きこと聞く）

植物文様

松、竹・笹、梅、桜、藤、柳、つばき、早蕨（さわらび）、桐、鉄線花、百合、牡丹、蓮、沢瀉（おもだか）、杜若（かきつばた）、桃、石榴（さくろ）、三多文（仏手柑・桃・石榴）、瓜、秋草（萩・撫子・藤袴・女郎花・桔梗・葛）、菊、楓（紅葉）、蔦（つた）、宝相華（ほうそうげ）、唐花、唐草

動物文様

鶴、亀、蓬莱山、鳳凰、迦陵頻伽（かりょうびんが）、鶯鶯（おしどり）、千鳥、雁、雀、鸚鵡、鶺鴒（せきれい）、鷺（さぎ）、燕（つばめ）

鹿、獅子、龍、麒麟、虎、兎、栗鼠（りす）、猿、蝶、蜻蛉（とんぼ）、貝、魚、鯉

自然文様

太陽、星、月、雲、霞、雷・稲妻、雪、流水、波、山水

器物文様

御所車、車、片輪車（かたわぐるま）、車輪、花車、水車（槌車）、矢車、几帳、御簾（みす）、屏風、衝立、熨斗（のし）、結び文、貝桶（かいおけ）、宝尽くし、色紙・短冊、巻絹、紙、扇、団扇（うちわ）、舟、網干（あぼし）、蛇籠（じゃかご）、笠、傘、垣文、矢、楽器、琴柱（ことじ）、鳥兜（とりかぶと）、瓢箪（ひょうたん）、輪宝、金剛杵（こんごうしよ）、銭形、雲版、鎌、算木文、葦手（あしで）絵

アイヌ・琉球文様

■ロゴ・ピクトグラム

マーク、シンボル

記号それ自体には、意味が含まれていない、装飾的な意味合いしかない

しかし、その記号対象が指示されることに意味がでてくる。

ソシユールは、記号表現をシーニュ、記号対象をシニファンと分けて区別した→記号論の始まり

ロゴ・紋

会社、個人などを特定するためのもの

家の場合は、家紋と呼ばれる

ピクトグラム

特定の意味を表すためにデザインされた記号、マーク

意味を連想させるための表現が応用されている

標準案内用図記号も整備されつつある

■ダイアグラム

グラフなどの図でデザインされたもののこと

その他に、関連図、解体図など様々な図による表現がある

■形の繰返しによるパターン（デジタルイメージクリエーション）

・シンメトリー

・幾何学的なシンメトリーによるパターン

・空間充填とタイリング、格子

★実習

→実際に1本の線からタイリングを実習してみる

2002年の秋学期の補充教材から

■参考文献

ヨーロッパの文様事典、視覚デザイン研究所

日本・中国の文様事典、視覚デザイン研究所

世界のサインとマーク、世界文化社

マークの形と発想、林由男、グラフィック社

図説インフォメーション・グラフィックス、ピータ・ウィルバー、マイケル・パーク、MdN

デジタルイメージクリエーション（デザイン編CG）、CG-ARTS協会

■グラデーションメッシュ

グラデーションメッシュツールでメッシュを作成する

→オブジェクトの内部で、クリックするとメッシュラインとメッシュポイントが作成される

→Optionキーを押しながらメッシュツールでメッシュポイントをクリックすると削除される

作成したメッシュポイントは、ダイレクト選択ツールで個別に選択できる。

→方向線や、色を変えることができる

メニューで作成する

→オブジェクトメニューの「グラデーションメッシュを作成」で作成する

ダイアログでメッシュラインの本数を指定したり、ハイライト、種類（フラット・中心方向・エッジ方向）を変えることができる。

別のオブジェクトにグラデーションメッシュを施し、それをマスクするという方法も良く使われる。

■パターンの登録

パターンとして、使用するアートワークを選択し、以下のいずれかの方法で登録できる。

→スウォッチパレットの中にドラッグ＆ドロップをする

→編集メニューの「パターン設定」を選ぶ

一部だけをパターンとして登録する場合は、塗り・線とも、「なし」とされている長方形を作成し、オブジェクトの登録したい部分上に移動し、最背面に移動する（オブジェクトメニュー→アレンジ→最背面）。その上で、すべてのオブジェクトを選択し、パターン設定する。なお、このときは、最背面に移動した長方形がオブジェクトの一部から、どこかはみだしていないといけない。

パターン設定するときには、別のパターンが入ったオブジェクトや、グラデーション、ブレンド、ブラシ、グラデーションメッシュ、ビットマップ画像などが含まれたオブジェクトは、パターン登録することができない。

■ブラシの登録

登録されたパターンを利用して、パターンブラシを設定することができる。

複数のオブジェクト選択して、散布ブラシを設定することができる。

カリグラフィブラシは、単にダイアログ上で登録することができる。

■シンボル

複数のオブジェクト選択して、シンボルを設定することができる。

■参考資料

・Illustratorの真髄を極める、雑誌MdN、2003年2月号

■課題

水族館で使われるピクトグラムを3つから6つ描きなさい。輪郭線は表現せずに、すべて輪郭と面で、表現しなさい。

ピクトグラムをまとめ、1つのJPEG形式のビットマップ画像に変換（ファイルメニューの「Web用に保存」を使うのが簡単）し、指定のフォルダ（public_html/designworks/）に保存し、Web上に公開しなさい。なお、ファイル名は以下のような形にする。自分で見れるか、一度確認せよ。ファイルサイズが大きくなりすぎないように注意しなさい。

aqua_名前.jpg

例：aqua_TakashiHattori.jpg

メールで担当者にURLを報告されたい。また、授業の感想なども併せて報告されたい。URLの報告は、次回の授業開始前までとする。

宛先： minohara@sfc.keio.ac.jp

表題： designb-4